



大垣市議会議員 おいだまさかつ

種田昌克 活動報告

たね

はなしの種 vol.8

未来に向けて種をまきます！

発行：おいだ昌克後援会

事務所：大垣市二葉町 8-6-1 TEL/FAX：0584-77-2288 携帯：080-3063-2556

ホームページ：<https://oida-masakatsu.jp/> E-mail：info@oida-masakatsu.jp



🌐 ホームページ



▶ YouTube チャンネル



📞 公式LINE アカウント

それぞれのQRコードをスマホのカメラ機能で読みとれば見ることができます！

■この2年間に取り組んできた中から、「10個の種」をピックアップしました。
 地域のみなさまの御支援により、未来に向かって、たくさんの種をまき、実現することができました！

1の種 避難所の DX 化推進を提言 (令和3年6月議会)

災害時においては、避難状況などを効率的に把握し、被災者支援を迅速に行わなければなりません。しかし、支援業務を行う職員やボランティアの人数に限りがある中で、たえず出入りする避難者のさまざまな情報を正確に集計することは非常に困難な業務です。

そのため、避難状況などを効率的に把握し、被災者支援を迅速に行うために、避難所のデジタル化の推進を提案します。



スマートフォンやマイナンバーカードで避難所受け付けできる「避難所受付支援システム」が導入され、「日経グローバル」に掲載されました。



2の種 こども食堂補助金制度創設を提言 (令和3年9月議会)

全国的に、「こども食堂」が、こうした居場所としての機能を果たしており、大垣市内においても複数のこども食堂が活動しています。子ども食堂は、地域の子どもから親たち、高齢者までが集える「地域づくり」の場となりつつあります。しかし、こども食堂は、民間ゆえの強みがある一方、不安定という側面もあるため、こども食堂を育てる意味で市としての支援をお願いします。



令和4年4月から「子供食堂運営支援事業」として、市内の子ども食堂に、年度内最大20万円の補助金制度ができました。



3の種 音声ガイド「ポケット学芸員」導入を提言 (令和3年12月議会)

スマホ音声ガイド「ポケット学芸員」は、自分のスマートフォンを使用するため、コロナウィルスなどの感染の心配もなく安心で、聴覚からも作品鑑賞することができます。また、作品鑑賞会などのガイドツアーは開催日時や参加人数が限られていますが、このシステムを使えば、時間を気にすることなく、手軽に解説を楽しむことができます。大垣市の文化施設に導入してはどうでしょう。



現在市内の文化施設で「ポケット学芸員」が導入され、作品を見ながらスマホで解説を聞くことができるようになりました！大垣城や奥の細道記念館、守屋多々志美術館などはもちろん、サイトピアセンターで現在開催中の「竹中美幸展」でも解説を楽しむことができます。ぜひ、インストールして使ってみてくださいね。



4の種 認知症高齢者見守りシールの導入（令和4年3月議会）

認知症の方のなかには、ひとりで出かけてそのまま行方不明になる方もおられます。行方不明になってから発見されるまでの生存率は、時間が経過するほど低下するため、一刻も早く発見する取り組みが必要です。



令和4年度から、高齢者の衣類等に、見守りQRコードシールを張り付けし、発見者がそれをスマホで読み取ることで、本人確認や家族等への連絡ができる「認知症高齢者見守りシール交付事業」が開始されました。



5の種 小沢道雄禅師の顕彰と映画「本日ただいま誕生」の上映を提言（令和4年3月議会）

法永寺（静里町）の住職であった小沢道雄（どうゆう）禅師（1920～1978）の自伝映画「本日ただいま誕生（植木等主演）」のフィルムが発見され、東京国際映画祭で上映されました。戦後、シベリア抑留からの送還中に凍傷により、両足を切断され、絶望のどん底から義足で托鉢行脚をはじめ、保護司なども務められた禅師に生き方は、現代に生きるわれわれ大人のみならず、子どもたちにも感銘を与え生きる力となると思います。私は10歳の時に父と一緒に観に行き、大変感銘を受けました。



令和5年2月に44年ぶりに大垣で、映画「本日ただいま誕生」が上映されました。上映会には市内外から多くの方が参加されました。



6の種 安井小・学校の男女共用トイレの改修、小野小・学校グラウンドの改修を提言（令和4年9月議会）

「安井小学校」の男女兼用となっているトイレ、「小野小学校」のグラウンドについては、一刻も早く改修なり整備を進めるべきです。



令和5年度事業として、安井小のトイレ及び小野小グラウンドの改修が行われる予定です。安井小学校のトイレについては、30年前から男女兼用でした。人権問題ですね。



男女同じトイレ！

水浸しのグラウンド

そのほか、たくさんの種をまきました！これからどんどん、開花させていきます！

7の種 逆線引き地区（長沢町・犬ヶ渚町）の解消について提言（令和4年6月議会）

「線引き」とは、一つの都市計画区域を、市街化区域と市街化調整区域とに区分することを線引きといい、一方、「逆線引き」とは、市街化区域であったところを市街化調整区域に変更することをいいます。用途地域存置はあくまで暫定で、現在の状況は非正規な状態です。何が問題かということ、逆線引きとなっているために、相続税の算定額に大きな差が生じてしまうため、早急に解消しなければならないと考えます。

8の種 「ごみ屋敷条例」の制定について（令和4年6月議会）

全国的に、ごみが積まれていたり、樹木や雑草が茂っていたりする放置された「空き家」や「空き地」などが近隣の生活環境に悪影響を及ぼす生活環境問題が大きな社会問題となっています。本市でも「ごみ屋敷条例」が必要ではないでしょうか。実際に安井、三城、南地区を歩いていると散見します。

9の種 「デジタル回覧板」導入の提言（令和4年9月議会）

多くの自治会が運営負担の増大、高齢化や共働き、定年延長に伴う役員の担い手不足、自治会員の減少といった課題を抱えています。こうした活動の解決に向けて、コロナ感染防止と地域活動の両立を図ることができるよう、スマートフォンやタブレットを活用した「デジタル回覧板」を導入してはどうでしょうか。



デジタル回覧板でできること

- ①市の情報 ②自治会の連絡 ③ごみに関する情報
- ④会議やイベント等の出欠確認 ⑤災害情報、避難情報
- ⑥家庭菜園のおすそ分け情報など ⑦役員会機能
- ⑧自治会写真帳 ⑨学校、子ども会情報⑩葬儀連絡

※自治会長は、誰が読んでいて誰が読んでないかも分かります。（安否確認にもつながります）

10の種 「ビストロ下水道」の提言（令和4年12月議会）

国土交通省と日本下水道協会が地方公共団体や民間企業などと連携して進められている「ビストロ下水道」というプロジェクトがあります。これは、下水道から出た処理水や汚泥を農作物に活用しようという試みです。水道からつくった肥料が生産者に届けられ、育った農作物がレストランやお店に並び、それを私たちがおいしくいただいて、再び下水道に帰っていく。ボタンをつないで循環を生み出すビストロ下水道には、自然環境や地域社会を動かすポテンシャルが秘められています。

後援会へのご入会をお願いします！

※ご連絡いただければ、入会案内をお届けさせていただきます！（受付はFAX・メール・携帯・ホームページからでもできます）

種田昌克プロフィール

1969（S44）年9月生まれ

安井小学校 ▶ 東中学校 ▶ 大垣北高等学校 ▶ 早稲田大学文学部 ▶ 大垣市役所

▶ 参議院議員大野泰正秘書 ▶ 大垣市議会議員（1期目） ▶ 現在、安井小PTA会長、市議会建設産業委員会副委員長、市民病院に関する委員会副委員長。



◎YouTubeチャンネルにて「10の種」をはじめ、これまでこれらの「種」についての動画を配信します！



YouTubeチャンネル